

社会福祉協議会 会費納入のお願い

ともに支えあう福祉の地域づくり

社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らせる福祉の町づくり」を目指して福祉事業を推進しています。

社協の地域福祉活動の運営費は、今回お願いする社協会費に加え、皆さまからの寄付金や町補助金、赤い羽根共同募金の配分金によって支えられています。毎年ご協力いただいている社協会費は、住民相互の福祉の向上のため、皆さまのご理解のもとに社協の会員として1戸あたり五百円の会費の納入をお願いするものです。

会費は、地区社協、いきいきサロン、ボランティア育成事業、歳末助け合い支援金、老人福祉、障害児・者福祉、児童・青少年福祉、母子・父子福祉、福祉育成援助活動などの運営費として使用させていただきます。

本年度も地域福祉活動を推進するために、社協会費へのご協力・ご支援をよろしく願います。

ボランティア84人がポイント交換

令和2年度のボランティアポイント登録者は264人で、その内84人がボランティア活動で貯められたポイントを商工会の商品券や図書カード、えびすの湯入館券と交換されました。

まだ、登録されていない人でボランティアに興味があり、「始めてみようかな?」と思われるなら、ボランティア活動保険の加入も無料で行えますのでぜひボランティアセンター(42-1112社協)までご連絡ください。特技や趣味を生かしたボランティア活動をご紹介します。

「赤十字運動」にご協力ください

日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」として、皆さまに赤十字会員への加入をお願いし、年額500円以上の会費のご協力とともに、赤十字の人的活動へのご理解を求める運動を展開しています。

納入いただいた会費は、日本赤十字社熊本県支部に納付し、次のような赤十字活動に役立てられます。

- ・災害救護活動・・・国内災害現場での医療救護や救援物資の配布など
- ・国際活動・・・海外の紛争や自然災害による被災者に対し、全世界の赤十字社が協力して支援
- ・赤十字講習会・・・心肺蘇生やAEDの操作方法などの講習など
- ・赤十字ボランティア・・・県内で約16,000人のボランティアが災害に備えた訓練や地域の要望に応じた活動を行う
- ・青少年赤十字(JRC)・・・将来を担う青少年が、赤十字精神を基に自らを育むことを目指して活動

特に昨年発生した7月豪雨災害では、7月4日の災害発生直後から、日本赤十字社熊本県支部災害対策本部を立ち上げ、九州各県や中国、四国地方の県支部からも救護班・支部災害対策本部要員の派遣を受け、人吉市・球磨村をはじめとした被災された地域へ医療救護や救援物資の配布、こころのケア活動などを行いました。また、日赤各奉仕団の活動や義援金の受付など様々な面から被災者の支援を行いました。

新人職員のご紹介

今回新たに、地域での支え合い活動の推進のために、生活支援コーディネーターを1名増員いたしましたのでご紹介させていただきます。介護予防教室や地域でのサロン活動等を支援させていただきますのでよろしくお願いします。

今後とも、これまで以上に地域の皆さまのお役に立てるよう職員一丸となり頑張ります。皆さまのご協力、よろしくお願いします。



生活支援コーディネーター
伊藤 克江



次の方々から社会福祉のためにとご寄付をいただきました。皆さまの温かい善意に感謝申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。(敬称略・受付順)

赤池 祐史 (故 トキエ)

多7区の1

松本 ヒロ子 (故 保)

黒8区

権頭 光利 (故 エミカ)

黒5区

桑原 キエ (故 國男)

多1区の2

石澤 京子 (故 忠光)

多6区の3

宮田 ミツメ (故 秋光)

黒1区

平田 久男 (故 フサミ)

黒3区

